

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	医療政策課長 家本 賢	電話番号	0852-22-6698
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	救急医療体制の整備		
目的	(1) 対象	医療機関	
	(2) 意図	初期、二次、三次の救急医療体制を確保する	
事業概要	救急医療体制を維持するため、以下の施策を実施 ・ドクターヘリの運航による搬送体制の強化 ・救命救急センターの維持のための運営費補助 ・小児救急電話相談事業実施で時間外診療抑制による医師負担軽減		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 救急病院数	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	病院
		取組目標値						
	式・定義 救急告示病院数	実績値	25.0					%
		達成率	100.0	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	305,787	338,523
うち一般財源 (千円)	166,366	170,211

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

島根県ドクターヘリデータ(平成23年6月運航開始) 運航件数 H23:489件、H24:695件、H25:725件、H26:737件、H27:611件 中国5県広域連携による広島県及び山口県ドクターヘリの島根県乗り入れ実績(平成25年5月乗入開始) 乗入実績 H25:77件、H26:78件、H27:81件 小児救急電話相談実績(H19.9~) H19:572件、H20:1,410件、H21:2,007件、H22:2,107件、H23:2,111件、H24:2,116件、H25:2,491件、H26:3,061件、H27:4,186件
--

6. 成果があったこと(改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> 島根県内の3次救急病院及び2次救急病院の体制は維持されている。 島根県ドクターヘリの運航件数は全国的に見て高頻度であり、重複要請が多く発生していたため、地域の医療機関と連携して出来る限り救急告示病院周辺は救急車で受け入れていただくようにした結果、H26に145件であった重複要請がH27は98件に減少 小児救急電話相談のH27.11から受付時間を延長し広報を強化した結果、相談数が大幅に増加 (従来) 平日:19:00~23:00 土日祝:9:00~23:00 (変更後) 平日:19:00~翌朝9:00 土日祝:24時間

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」 ・救急病院への患者集中による医師の疲弊 ・ドクターヘリや防災ヘリを用いた救急搬送の増加に伴う医師や運航関係者の負担増加
②困っている状況が発生している「原因」 ・県民の意識不足 ・医師の理解
③原因を解消するための「課題」 救急病院やヘリコプターに集中する負担を、全県でカバー・分散する仕組みが必要

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> 県民への普及啓発の実施(小児救急電話相談のPR、コンビニ受診抑制) H27より実施しているドクターヘリの重複要請を減らす仕組みに無理がないかの検証
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

--